

令和8年3月18日
北九州市都市ブランド創造局

報道機関各位

北九州市立美術館 × 飛ぶ劇場
Kitakyushu Municipal Museum of Art TOBU-GEKIJOU (Flying Theater)

親子でゲキシビジョン

「切り裂かれたキャンバス～名画《マネとマネ夫人像》が切り裂かれた謎を追え！」

小・中学生とその保護者 300名を招待して上演します！

北九州市立美術館では、演劇を通してアートの面白さを知ってほしいと、ゲキシビジョンと称して、所蔵する名作にかかわる物語を演劇にしてきました。

今回、まちなかアートの一環として、演劇を通じてわかりやすく、楽しく、アートを感じてほしいと、希望する市内の小・中学生とその保護者を芸術劇場に招待してゲキシビジョンを上演します。ぜひ、取材いただきますようお願いいたします。



記

- 日時** 令和8年3月21日（土）～22日（日）
上演時間 21日（土）①11時～12時 ②14時～15時
22日（日）③11時～12時 ④14時～15時
※開場は30分前になります。
- 場所** J:COM 北九州芸術劇場 小劇場
小倉北区室町一丁目1番1号 リバーウォーク北九州内
- 招待者** 公募した市内小・中学生とその保護者（約300名）
- 演目** 「切り裂かれたキャンバス」
名画《マネとマネ夫人像》が切り裂かれた謎を追え！
作・演出 泊 篤志（飛ぶ劇場）
- その他** 芸術劇場ホワイエでは、「マネとマネ夫人像」のデジタルレプリカ及び西戸畑市民センター主催講座「なりきり！エドガー・ドガ」で児童が切り裂かれた部分を創造して描いた絵が掲出されます！
なお、児童は3月21日（土）に来館して、11時からの公演を観劇します。

〈問合せ先〉都市ブランド創造局美術館普及課 担当：谷川、三宅
TEL 093-882-7777 FAX 093-861-0959

●ゲキシビジョンとは

平成25年「美術館分館・リバーウォーク北九州会館10周年」記念事業として北九州市立美術館と北九州芸術劇場及び演出家泊篤志とで、日本で初めての「演劇と美術のコラボレーション」として誕生しました。

ゲキシビジョンは演劇（ゲキ）と北九州市立美術館・市美（シビ）からの造語
これまでの公演回数は9回、作品は「切り裂かれたキャンバス」など5作品あり、いずれも北九州市立美術館の所蔵する絵画を対象としています。

●飛ぶ劇場

1987年に結成され、北九州市を本拠地として活動する劇団です。
作・演出の泊篤志が率い、何気ない日常から突飛な非日常へと観客を誘う作風が特徴です。方言を用いた血の通ったセリフと、歌や舞踊を取り入れた祝祭感あふれる舞台で、全国各地で公演を行っています。

●西戸畑市民センター主催講座

「なりきり！エドガー・ドガ～君もエドガー・ドガになりきって失われた絵の右側を完成させよう～」

西戸畑市民センターの生涯学習市民講座として、児童に、「マネとマネ夫人像」の切り裂かれた部分を想像して絵を書く講座を実施し、12名の児童がドガになりきって、絵を完成させました。完成された絵は、芸術劇場のほか、西戸畑市民センターなどに展示されます。

北九州市立美術館2階 3月17日(火)～3月20日(祝・金)

北九州芸術劇場小ホール 3月21日(土)～3月22日(日)

西戸畑市民センター 3月24日(火)～3月28日(土)



